

款 3 民生費

項 1 社会福祉費

目 1 社会福祉総務費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
4,380,329,000円	4,335,453,686円		44,875,314円

● [明許繰越]

[保健福祉総合システム運営費] 10,891,650円 (国庫支出金 5,445,000円)
 前年度から開発している介護保険システムと連携をとって、運用することが必要なため、システム改造を行いました。

[委員報酬] 464,800円

・同和対策委員 24人

[一般職給] 98人 865,584,960円
 (国庫支出金 193,640,000円)
 (県支出金 498,750円)
 (その他特財 26,284,398円)

[嘱託職給] 10人 32,894,040円 (県支出金 1,959,000円)

[社会福祉一般事業費] 21,106,965円

・行旅病人同死亡人取扱扶助費 1件 109,303円

・一般経費 20,997,662円

[医療費助成経費] 882,838,201円

医療費の自己負担分の助成については、本年度も各医療費助成制度に基づいて次のとおり実施しました。各医療費助成とも、受給者数が増加したこともあり、助成件数及び助成額が前年度に比べて増加することとなりました。

区 分	県(補助)対象額 (件数)	うち特定財源		市制度対象額 (件数)
		県支出金		
老人医療費 (68・69歳)	53,406,037 (26,341)	県支出金	30,230,000	
乳幼児医療費	180,237,553 (72,852)	県支出金	91,844,000	
心身障害者医療費	378,796,685 (56,430)	県支出金	192,751,000	168,111,831 (31,253)
母子医療費	70,916,895 (24,534)	県支出金	33,094,000	
文 書 料	28,680,200 (143,401)	県支出金	14,687,000	2,689,000 (13,445)

[社会福祉振興費] 67,484,995円

・民生委員児童委員協議会連合会補助金 28,124,000円
 民生委員・児童委員 489人 (主任児童委員を含む)

・保護司会補助金 保護司 110人 2,730,000円
 運営費補助 1,980,000円
 中部大会負担金 750,000円

・更生保護婦人会補助金 135,000円

・母子福祉協力員協議会補助金 230,000円

・四日市母子寡婦福祉会補助金 405,000円

・三泗母親大会補助金 32,000円

・民生対策費補助金 34,028,995円

・遺族対策費補助金 1,800,000円

〔同和対策経費〕	22,282,588円		
・同和対策費補助金	15,411,937円	(県支出金	27,000円)
・同和地区公会所維持管理委託事業	3,134,480円		
・一般経費	3,736,171円	(県支出金	66,000円)
〔女性相談等関係経費〕	227,928円	(国庫支出金	24,000円)
相談件数	786件		
〔社会福祉協議会経費〕	155,507,725円		
・運営費補助金	152,056,983円		
社会福祉協議会運営費	93,382,000円	西南総合福祉センター運営費	23,000,000円
市民啓発事業費	2,800,000円	ふれあいのまちづくり事業費	14,478,983円
福祉ボランティアのまちづくり事業費	3,450,000円	福祉職能訓練所運営費	2,813,000円
盲人福祉センター運営費	3,723,000円	振興基金補填事業費	5,203,000円
福祉金庫貸付金	3,207,000円		
・成年後見・権利擁護事業費補助金	1,494,742円		
・社会福祉事業振興基金交付金	1,956,000円		
〔シルバー人材センター運営費補助金〕	29,071,000円	(国庫支出金	3,250,000円)
(本年度未会員数 1,135人 事業受注件数 4,779件		契約高	448,920,866円)
〔精神障害者福祉事業費〕	20,878,640円		
・精神障害者小規模授産施設運営費補助金	14,776,000円		

施設名	実施額	備考
わかば共同作業所	5,707,000	
みのり工房	3,759,000	
コミュニティハウスオレゴン	2,466,000	
フェア・ワークス下野	2,844,000	

・精神障害者小規模授産施設等通所費扶助費			
個人 延べ92件	1,890,640円		
・精神障害者介護等サービス試行的事業費	4,212,000円	(県支出金	4,212,000円)
〔特別障害者手当等支給経費〕	311,687,460円		
・特別障害者手当等運営対策経費	190,960円		
・特別障害者手当等扶助費	120,410,500円	(国庫支出金	89,621,145円)
受給者 490人			
・重症心身障害者手当	149,652,000円		
受給者 3,189人			
・ねたきり老人等介護手当	36,744,000円		
受給者 825人			
・在日外国人福祉給付金	4,690,000円		
受給者 79人			
〔民間社会福祉施設等整備助成事業費〕	249,562,362円		
・特別養護老人ホーム建設費補助金	47,021,498円		

施設名	実施額	備考
小山田特別養護老人ホーム(増築)	2,694,700	債務負担行為限度額のうち本年度分
特別養護老人ホーム萌乃里	3,224,894	〃
第二小山田特別養護老人ホーム(増築)	1,684,200	〃
特別養護老人ホーム陽光苑	2,259,600	〃
特別養護老人ホーム陽光苑(増築)	1,549,947	〃
小山田特別養護老人ホーム(特殊型)	3,445,000	〃

特別養護老人ホーム英水苑	4,145,157	〃
特別養護老人ホームよっかいち譜朋苑	4,814,000	〃
特別養護老人ホーム萌乃里（増築）	3,204,000	〃
小山田特別養護老人ホーム（大規模修繕）	10,000,000	
特別養護老人ホーム南部陽光苑	10,000,000	

・軽費老人ホーム建設費補助金 17,347,133円

施設名	実施額	備考
第二小山田軽費老人ホーム（A型）	1,832,450	債務負担行為限度額のうち本年度分
小山田ケアハウス	1,950,631	〃
ケアハウス常磐	3,564,052	〃
グリーンライフ英水苑	10,000,000	

・老人デイサービス施設建設費補助金 68,055,000円

施設名	実施額	備考
小山田デイサービスセンター	720,000	債務負担行為限度額のうち本年度分
常磐デイサービスセンター	916,000	〃
英水苑デイサービスセンター	941,000	〃
四郷デイサービスセンター	1,091,000	〃
YMCAデイサービスセンター	1,276,000	〃
よっかいち譜朋苑デイサービスセンター	994,000	〃
みなとデイサービスセンター	1,148,000	〃
富田浜デイサービスセンター	969,000	〃
南部陽光苑デイサービスセンター	10,000,000	
ハピネスやさとデイサービスセンター	10,000,000	
川島デイサービスセンター	10,000,000	
うねめの里デイサービスセンター	10,000,000	
くぬぎの木デイサービスセンター	10,000,000	
日永英水苑デイサービスセンター	10,000,000	

・在宅介護支援センター建設費補助金 30,135,000円

施設名	実施額	備考
南部陽光苑在宅介護サービスセンター	5,192,000	
ハピネスやさと在宅介護サービスセンター	5,156,000	

川島在宅介護サービスセンター	5,052,000	
うねめの里在宅介護サービスセンター	5,192,000	
くぬぎの木在宅介護サービスセンター	4,723,000	
日永英水苑在宅介護サービスセンター	4,820,000	

・地域交流ホーム建設費補助金 1,140,050円

施設名	実施額	備考
小山田温泉地域交流ホーム	1,140,050	債務負担行為限度額のうち本年度分

・身体障害者療護施設建設費補助金 2,452,500円

施設名	実施額	備考
エビノ園増築分	2,452,500	債務負担行為限度額のうち本年度分

・知的障害者更生施設建設費補助金 15,637,394円

施設名	実施額	備考
聖母の家	1,366,600	債務負担行為限度額のうち本年度分
清和苑	10,000,000	
聖母の家（増築分）	907,900	債務負担行為限度額のうち本年度分
垂坂山ブルーミングハウス	2,386,947	〃
サクラノ園	975,947	〃

・知的障害者通所授産施設建設費補助金 10,821,050円

施設名	実施額	備考
清和ワークキャンパス	821,050	債務負担行為限度額のうち本年度分
かすみヶ浦ブルーミングハウス	10,000,000	

・知的障害者デイサービス建設費補助金 10,000,000円

施設名	実施額	備考
清和デイサービスセンター	10,000,000	

・老人保健施設建設費補助金 8,106,848円

施設名	実施額	備考
小山田老人保健施設	3,831,850	債務負担行為限度額のうち本年度分
老人保健施設みえ川村老健	1,919,736	〃
老人保健施設ちゅうぶ	1,315,789	〃
富田浜老人保健施設	1,039,473	〃

施設名	実施額	備考
老人福祉施設ユートピアハウス	38,845,889	債務負担行為限度額のうち本年度分

〔保健福祉総合システム運営費〕	20,477,074円	(国庫支出金 5,494,000円)
〔社会福祉事業振興基金積立金〕	7,029,895円	
・民間社会福祉事業	6,945,438円	(その他特財 6,945,438円)
・障害児福祉事業	84,457円	(その他特財 84,457円)
社会福祉事業振興基金		
〔昭和51年3月設置 本年度末現在高	民間社会福祉事業積立金 363,678,862円	
	障害児福祉事業積立金 13,625,164円	
〔法外扶助費〕	34,467,534円	

生活保護世帯に、四日市市単独で実施する法外扶助を下記のとおり行いました。なお、歳末見舞金については、生活保護世帯だけでなく、本市が措置している、高齢者・障害者・児童の各福祉施設入所者に対しても支給しました。

法外扶助費の状況

区分	件数	実施額	前年度実績額	(%)
夏期見舞金	1,031	12,617,500	11,702,500	107.8
歳末見舞金	2,061	20,735,200	18,686,800	111.0
小・中・高校入学祝金、その他	69	1,114,834	1,288,899	86.5
合計	3,161	34,467,534	31,678,199	108.8

(内訳) 夏期見舞金	生保在宅1~2人世帯	14,500円 × 711	計 12,617,500円
	〃 3人以上世帯	15,500円 × 99	
	入院世帯	3,500円 × 221	
歳末見舞金	生保在宅1~2人世帯	18,600円 × 733	計 20,735,200円
	〃 3人以上世帯	20,600円 × 104	
	入院世帯	6,500円 × 225	
	施設入所者	3,500円 × 57	
	施設入所者 老人 594	3,500円 × 942	
	障害者 197		
	児童 151		
入学祝金	小学校	21,000円 × 9	計 945,000円
	中学校	14,000円 × 24	
	高校校	30,000円 × 14	
その他	中学1年生夏服代(原価)	男子 10	計 169,834円
		女子 12	

〔老人保健医療特別会計繰出金〕 1,601,546,000円

〔負担金〕 708,200円

・全国シルバー人材センター協会等

〔国際高齢者年記念事業〕 741,669円

〔成果〕

痴呆性高齢者・知的障害者・精神障害者などが住み慣れた地域で安心して自立した生活を送ることができるようになるため、社会福祉協議会が計画してきた「地域福祉権利擁護事業」の準備経費に対して補助することにより、平成11年12月1日から同事業が開始されました。

民間社会福祉施設等整備助成については、高齢者施設では、新たに南部陽光苑(特別養護老人ホーム)、グリーンライフ英水苑(軽費老人ホーム)、また在宅介護サービスセンターの南部陽光苑、ハピネスやささと、川島、うねめの里、くぬぎの木、日永英水苑に建設費補助金を支出しました。

また、障害者施設では、知的障害者の更生施設清和苑、通所授産施設のかすみヶ浦ブルーミングハウス、そして、デイサービス施設の清和デイサービスセンターに建設費補助金を支出しました。

さらに、前年度設置した同和対策委員会専門部会において、「生活・就労」「教育・啓発」を中心とした「同和地区生活実態調査」にあらわれている同和問題の重要課題の解決に向けて、同和対策事業の今後のあり方を協議・検討しました。

目2 身体障害者福祉費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
809,320,000円	774,027,102円		35,292,898円

身体障害者福祉の理念は、国際障害者年のテーマ「完全参加と平等」に集約されるように、身体障害者が社会の一員としてあらゆる活動に参加でき、地域社会の中で自立し、生涯を通じて安定した生活を営むことができるようにすることにあり、この理念の実現に向けて、次のような施策を実施しました。

- 〔身体障害者福祉一般経費〕 13,510,449円
 - ・福祉環境整備事業費 1,771,350円
 - 点字ブロック補修工事等
 - ・ふれあい農園運営事業費 3,249,104円
 - ・福祉の店運営費補助金 4,452,790円
 - 施設入所者等が製作した作品の常設展示即売等を通じて障害者問題の啓発と就労の推進に努めました。
 - 延開店日数 581日、売上点数 11,058点、売上金額 6,531,570円
 - ・各種大会経費補助金 100,000円
 - 第19回みみの日記念文化祭補助金
 - ・障害者福祉推進事業費 600,000円
 - ・身体障害者スポーツ振興事業費補助金 120,000円 (県支出金 80,000円)
 - 身体障害者スポ・レク大会補助金
 - ・一般経費 3,217,205円 (県支出金 837,000円)
- 〔超低床ノンステップバス導入事業費補助金〕 10,488,000円
 - 超低床ノンステップバスの購入補助 2台
- 〔身体障害者在宅介護事業費〕 225,932,058円
 - ・ホームヘルプサービス事業費 48,020,887円 (国庫支出金 23,474,000円)
 - 派遣世帯 106世帯 (県支出金 8,308,000円)
 - ・ガイドヘルパー派遣事業費 5,194,960円
 - 派遣対象者 85人、派遣回数 1,510回
 - ・手話通訳者派遣事業費 2,715,685円 (県支出金 2,127,000円)
 - 派遣対象者 149人、派遣回数 369回
 - ・在宅重度身体障害者訪問診査費 148,000円
 - 訪問実績 肢体障害者 9人
 - ・在宅重度身体障害者短期入所事業費 5,825,340円 (国庫支出金 3,024,000円)
 - (県支出金 1,512,000円)

家族の疾病等の理由により、一時的に家庭での介護が困難な障害者を施設で世話する。
延べ 831日 33人

 - ・ファクス中継サービス事業費補助金 238,272円
 - 聴覚障害者のコミュニケーション手段の確保のため、ろうあ福祉会へ補助 中継者 19人
 - ・福祉電話貸与事業費 521,140円
 - 基本料金を負担 23台分
 - ・はり・きゅう・マッサージ給付事業費補助金 17,252,000円
 - 視覚障害者の生活安定を目的とし、四日市盲人福祉会の協力により実施
1枚あたり 1,000円補助
 - ・在宅重度身体障害者住宅改造費補助金 8,935,000円 (県支出金 2,494,000円)
 - 対象 肢体障害 1～3級、最高 900,000円限度、23件
 - ・身体障害者福祉機器購入費補助金 883,500円
 - エアーパット、点字出版物の購入補助 18件
 - ・日常生活用具リサイクル助成事業費補助金 661,800円 (県支出金 640,000円)
 - 不必要になった車いす、ベッド等を引取り消毒して必要な利用者に貸与する場合、そのリサイクルに要する経費を補助
 - ・心身障害者タクシー料金助成事業扶助費 54,813,050円
 - 630円の券を年間72枚交付 延べ 87,006件
 - ・重度身体障害者移動支援事業費補助金 9,100,000円 (県支出金 800,000円)
 - 利用登録者 779名 運行回数 5,858回 リフトタクシー運営経費をフットワークエクスプレス(株)へ補助
 - ・身体障害者自動車燃料費助成事業扶助費 9,269,624円

- 給付件数 550件 (特殊寝台 108、入浴補助用具89、手すり99等)
- ・補装具交付・修理費 46,876,633円 (国庫支出金 23,438,316円)
- 交付件数 1,723件 (車いす 175、補聴器73等) 修理件数 130件 計 1,853件
- ・自動車改造費給付費 986,732円 (県支出金 467,000円)
- 1件当たり 100,000円限度 12件分
- ・自動車操作訓練給付費 700,000円 (県支出金 334,000円)
- 運転免許取得費の助成 1件当たり 100,000円限度 7件分

〔成 果〕

障害者が地域社会の中で自立し、安心して生活できるように在宅福祉を支援する体制の充実を図り、また家庭での自立が困難な障害者に対しては施設福祉の充実に努める等、きめ細かな施策を実施しました。

身体障害者や高齢者が社会の一員としてあらゆる活動に参加でき、地域社会の中で自立して安定した生活を営むことができるようにさまざまな支援活動を実施していますが、その一環として本年度は新たに超低床ノンステップバスの購入費補助を行うことにより、路線バスへの導入が図られました。

また、平成7年3月策定の市障害者計画「障害者施策の基本的方向」については計画期間の中間に当たるので、諸課題について障害者施策推進協議会で協議を行いました。

目3 知的障害者福祉費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
1,002,861,000円	956,825,639円		46,035,361円

知的障害者福祉の推進には、それぞれの障害の程度やライフサイクルに応じ生涯のあらゆる段階において、自立した生活を目指し、社会経済活動へ参加できるような支援を行うことが必要です。

このような考え方にに基づき、次のような事業を実施しました。

- 〔知的障害者福祉一般事業費〕 129,062円
 - ・通所施設連絡協議会経費 8,400円
 - ・一般経費 120,662円
- 〔知的障害者在宅援護事業費〕 75,616,596円
 - ・ホームヘルプサービス事業費 8,124,000円 (国庫支出金 1,633,000円)
 - 社会福祉協議会へ委託 派遣世帯 9世帯 (県支出金 816,000円)
 - ・知的障害者デイサービス事業費 23,042,880円 (国庫支出金 21,541,000円)
 - 平成11年4月開所の清和デイサービスセンターの送迎用車両(リフトバス1台)を購入し、貸与車イス仕様 定員20名
 - ・職親委託事業費 2企業へ 3人 936,000円 (国庫支出金 468,000円)
 - ・地域生活援助事業費 7,914,060円 (国庫支出金 3,177,000円)
 - グループホーム 6カ所 延べ 102人
 - 生活ホーム 2カ所 延べ 52人
 - ・重度知的障害者通所更生施設運営費補助金 29,318,656円
 - 平成10年8月開所したサクラノ園に対する運営費助成 定員30人 通所者 延べ 157人
 - ・介護等サービス調整試行的事業 6,281,000円 (県支出金 6,281,000円)
 - 試行的に在宅の障害者のケアプランを作成し、各種サービスの整備のあり方について検討を行いました。
- 〔心身障害者在宅援護事業費〕 68,839,293円
 - ・心身障害者小規模授産事業運営費補助金 62,940,000円

施 設 名	実 施 額	う ち 特 定 財 源	
みはま作業所	8,973,000	県 支 出 金	2,880,000
富州原授産所	11,595,000	県 支 出 金	3,643,000
生活倶楽部きりん	7,945,000	県 支 出 金	2,880,000
尾上授産所	12,714,000	県 支 出 金	3,643,000

わかたけ萩の里	12,995,000	県支出金	3,643,000
わかたけ笹川の家	8,718,000	県支出金	2,880,000

・心身障害者小規模授産施設等通所費扶助金

5,899,293円

通所費の助成 本人交通費 396件、施設送迎費 8件

〔心身障害者通所施設管理運営費〕

201,970,224円

・共栄作業所管理運営委託費

74,021,054円 (国庫支出金 31,324,590円)

社会福祉協議会へ運営委託

通所者 延べ 444人

・たんばぼ管理運営委託費

106,870,420円 (国庫支出金 27,080,900円)

社会福祉協議会へ運営委託

通所者 延べ 420人

・通所バス運行事業委託費

21,078,750円

たんばぼへの送迎を委託

〔生活ホーム運営委託費〕

7,797,580円 (県支出金 3,228,000円)

四日市市手をつなぐ育成会へ運営委託。日野ハウス 3人・富田ハウス 4人

〔更生援護施設事務事業費〕

602,472,884円 (国庫支出金 280,530,640円)

〔その他特財 36,539,000円〕

施設への措置状況

施設名	前年度末入所者数	入所措置	退所措置	本年度末入所者数	措置費(円)
知的障害者センター	4			4	12,558,406
和順寮	6	3		9	36,696,202
成峯寮	10			10	34,358,911
長谷山学園	3			3	10,759,610
まもり苑	2			2	7,623,421
済美寮	2			2	6,358,570
長谷山寮	8			8	27,456,831
あさけ学園	10	1		11	42,953,414
聖母の家	24		4	20	68,994,948
彦根学園	2			2	7,547,024
かすみヶ浦 プールミングハウス	0	23		23	42,811,184
しらさぎ園	2			2	7,766,260
三重県いなば園	10		2	8	22,701,097
名古屋市希望荘	1			1	3,298,540
奈良県立大淀授産所	1			1	3,604,737
向陽園	1			1	3,669,386
垂坂山 プールミングハウス	14		1	13	43,698,067
緑の丘	1			1	3,817,671
くわのみ	4		1	3	12,462,762

清和ワークキャンパス	28		3	25	49,052,800
バンブーハウス	10			10	20,178,220
富起園	4			4	10,129,056
和順学園	0	3		3	11,893,970
あさけ学園通所	7	2		9	13,819,896
清和苑	0	21		21	71,067,531
サクラノ園	5	9		14	24,628,686
のぞみ荘	2			2	2,265,000
合 計	161	62	11	212	602,172,200

・診療報酬支払事務委託 300,684円

〔成 果〕

在宅福祉、施設福祉等、各種施策を幅広く展開することにより障害者の自立と社会参加の促進を図りました。

目 4 老人福祉費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
3,538,045,000円	3,532,786,070円		5,258,930円

ますます進展する高齢社会のなかで、平成12年度からスタートする介護保険制度への円滑な移行を視野に入れながら、施設福祉、在宅福祉の充実に努め、また敬老事業、老人クラブの活性化に向けた支援も行いました。

〔老人福祉一般事業費〕	103,661,836円		
・老人ホーム入所判定委員会経費	287,800円		
・敬老事業費	102,399,147円		
敬老金の支給（80歳以上）	53,650,176円		
敬老サービス券の交付（75歳以上）	23,254,564円		
地区敬老行事	25,387,200円		
敬老訪問	107,207円		
・一般経費	974,889円		
〔ねたきり等老人対策事業費〕	1,361,468,192円		
・ホームヘルプサービス事業費	192,473,155円		
派遣実世帯数 805 延派遣回数 56,366		〔国庫支出金 80,697,000円〕	
		〔県支出金 40,502,000円〕	
		〔その他特財 6,340,990円〕	
・老人デイサービス事業費	795,652,922円	〔国庫支出金 337,578,000円〕	
通所事業実利用者数 1,328人		〔県支出金 186,828,000円〕	
訪問入浴実利用者数 272人			
訪問給食実利用者数 786人			
・日常生活用具給付等事業費	40,739,265円	（県支出金 24,853,000円）	
特殊寝台 214台 車いす 164台 外			
・高齢者住宅改造費補助金	6,704,580円	（県支出金 1,061,000円）	
本年度実績 16件			
・老人短期入所事業費	112,254,270円	〔国庫支出金 56,890,000円〕	
実利用者数 724人 延利用日数 21,932		〔県支出金 28,445,000円〕	
・在宅介護支援センター事業費	213,644,000円	（県支出金 160,233,000円）	
本年度末現在 18施設			
〔ひとり暮らし老人対策事業費〕	5,121,942円		
・福祉電話貸与事業費	5,010,877円	（県支出金 2,922,000円）	

本年度末現在 229台
 ・緊急通報受信センター運営費 111,065円
 本年度通報件数 38件
 [生きがい対策事業費] 23,617,337円
 ・老人社会参加活動育成事業費 2,086,200円
 28地区老人クラブ、四日市市老人クラブ連合会
 ・老人クラブ運営費補助金 17,933,625円 (県支出金 8,447,000円)
 229 クラブ (21,335人)
 ・老人憩いの広場整備事業費補助金 3,597,512円
 [老人福祉施設事務費事業費] 2,038,506,763円 { 国庫支出金 742,129,038円 }
 施設への措置状況 { その他特財 483,081,065円 }

施設名		前年度末入所者数	入所措置	退所措置	本年度末入所者数	措置費(円)
養護老人ホーム	(寿楽園)	(117)	(17)	(20)	(114)	(207,925,958)
	その他	20	5	4	21	49,642,387
特別養護老人ホーム	小山田	160	30	30	160	452,064,641
	第二小山田	74	22	20	76	227,113,221
	陽光苑	72	27	27	72	246,050,490
	南部陽光苑		52	12	40	135,176,989
	かんざき		61	1	60	7,387,626
	萌乃里	67	23	18	72	227,122,110
	英水苑	43	9	9	43	162,428,457
	よっかいち 諧朋苑	34	5	6	33	127,560,932
	その他	119	23	32	110	403,959,910
計		589	257	159	687	2,038,506,763
計(含寿楽園)		(706)	(274)	(179)	(801)	(2,246,432,721)

[老人保健福祉計画推進事業費] 410,000円
 3級ヘルパー養成講座開催経費

[成果]

入所施設では新たに南部陽光苑、かんざき特別養護老人ホーム、グリーンライフ英水苑が開所し、また、在宅介護サービスセンターでは南部陽光苑、川島、うねめの里、くぬぎの木、ハピネスやさと、日永英水苑の各施設が開所するなど、入所施設や在宅福祉の拠点施設の整備充実に努めました。

目5 介護保険準備費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,842,093,000円	1,811,731,335円		30,361,665円

平成12年4月からの介護保険制度の円滑な導入に向けて、10月より準備要介護認定を開始するとともに、介護保険制度を軸に高齢者施策の総合的な推進を図るため、第2次四日市市高齢者保健福祉計画・第1次四日市市介護保険事業計画を策定しました。

[介護保険施行準備事業費] 135,508,335円 { 国庫支出金 55,769,000円 }
 { その他特財 363,000円 }

- ・老人保健福祉計画・介護保険事業計画策定経費 3,746,269円
- ・介護保険システム開発経費 48,268,500円
- ・介護保険認定調査事業経費 71,216,317円
- ・一般経費 12,277,249円
- 〔介護保険円滑導入基金積立金〕 1,676,223,000円 (国庫支出金 1,676,223,000円)
- (平成12年3月設置 本年度末現在高 1,676,223,000円)

目6 認定審査会費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
82,279,000円	77,971,124円		4,307,876円

三河介護認定審査会は、80人の委員宅にパソコンを設置し、インターネット回線を利用して審査資料の送受信を行うなどペーパーレスシステムにより迅速な認定審査の実施に努めました。

- 〔一般職給〕 2人 21,021,000円
- 〔介護保険要介護認定事業費〕 56,950,124円
- 〔国庫支出金 12,978,000円〕
- 〔県支出金 16,323,000円〕
- 〔その他特財 11,544,000円〕

目7 国民年金費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
51,799,000円	44,245,814円		7,553,186円

高齢社会の進展にともない、国民年金の果たす役割はライフプランの作成等、ますます大きくなっていきます。この国民年金制度の安定的な運営と市民の年金受給権確保のため、

- 1 年金制度の啓発活動に努めました。
年金相談の本庁・各地区市民センターでの実施(142件)
広報掲載(毎月)や各種パンフ配布等によるPR活動の実施
- 2 年金未加入者の加入促進に努めました。
20歳及び35歳未満者の職権適用を含む完全適用の実施
35歳以上者の個別勧奨の実施
国民年金3号未届者の3号届出書提出勧奨
- 3 各種年金受給者等の効率的な受付及び勧奨事務に努めました。
年金裁定受付事務の管理を簡素化して、すみやかな進達を実施
年金未請求者及び高齢任意加入必要者への勧奨実施
- 4 保険料未納者対策の強化に努めました。
国民年金推進員7人により未納者宅へ戸別訪問を実施

- 〔国民年金事務費〕 43,999,926円
- ・集金人等報償金 4,397,872円 (国庫支出金 4,397,872円)
- ・一般経費 39,602,054円 (国庫支出金 39,602,054円)
- うち賃金 (一般事務臨時職員2人、年金推進員臨時職員7人) 14,903,252円
- 〔年金取扱地区交付金〕 78,888円 (国庫支出金 78,888円)
- 〔負担金〕 167,000円 (国庫支出金 167,000円)
- ・三重県国民年金協議会等

〔成 果〕

- 適用率 97.0% (前年度 95.7%)
- 適用被保険者 43,192人/ 推定被保険者 44,535人
- 検認率 75.8% (前年度 77.9%)
- 年金給付額 老齢基礎年金 804,200円 (加入可能年数の全額納付者)
- 老齢福祉年金 412,000円

年金保険料 月額 13,300円 (前年度 13,300円)
国民年金の適用状況

区 分	第1号被保険者	任意加入被保険者	第3号被保険者	合 計
年度末現在の被保険者数(人)	43,192	483	30,857	74,532

国民年金の給付状況

ア 拠出年金

区 分	老 齢 年 金	通算老齢年金	5 年 年 金	老 齢 基 礎 年 金	障 害 年 金
受給者数(人)	6,937	4,083	482	22,662	227
年金額(円)	3,349,665,400	864,510,100	200,415,600	15,453,743,800	199,476,100

区 分	障害基礎年金	母子(準母子)年金	遺 児 年 金	寡 婦 年 金	遺族基礎年金
受給者数(人)	893	7	0	113	622
年金額(円)	791,259,500	7,017,800	0	58,552,400	487,420,200

イ 福祉年金

区 分	老齢福祉年金	障 害 基 礎 年 金
受給者数(人)	428	1,755
年金額(円)	176,336,000	1,612,889,500

(注) 障害基礎年金は、旧法による障害福祉年金及び無拠出分

目 8 社会福祉施設費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額
215,316,000円	200,305,921円		15,010,079円

地方改善事業は、同和地区の生活環境の改善を図るものでありますが、従来の指定地区内のみならず、周辺地域との整合性、一体性を図りつつ効果的な予算の執行に努めました。

また、小牧市民会館・神前市民会館において、各種教養講座をはじめ、相談事業、地区児童を対象とした学習会、同和問題講習会などの隣保事業を実施し、地域住民の社会的・経済的・文化的生活の向上を図りました。

〔嘱託職給〕 6人	15,983,457円	(県支出金 15,983,000円)
〔隣保館管理運営費〕	6,140,618円	
・ 青少年等福祉対策事業費	136,500円	(県支出金 91,000円)
・ 一般経費	6,004,118円	(県支出金 4,915,000円)
〔その他同和施設管理運営費〕	18,493,215円	
〔社会福祉施設整備事業費〕	158,229,147円	

事業区分(施行箇所)	事業内容	事業費	うち特定財源	
宅内配管等工事費補助事業費(小牧町西)	小牧コミュニティプラント整備事業に係る宅内配管工事費補助 18件	8,746,000	県支出金	4,373,000
舗装復旧事業費(小牧町)	小牧コミュニティプラント整備事業に係る舗装復旧工事 L=1403m W=3.6m	24,111,150		

市営住宅跡地整備事業費 (小牧町西)	造成工(14区画)等	58,217,344		
小牧市民会館等下水接続事業費	コミュニティ・プラント接続 (3施設)	2,434,950		
用地取得事業費 ・赤堀公園	用地費 A=255.59m ²	26,374,306		
大型共同作業場整備事業 (寺方町二区)	建築・設備修繕等	21,661,972		
その他整備事業費	道路改修・環境改善・排水路改修等	16,683,425		

〔事業事務費〕 1,459,484円

〔成 果〕

小牧コミュニティ・プラント整備事業に伴う道路舗装復旧事業については、全体事業延長に対して80.0%に達し、宅内配管等補助事業については、全体事業の90.0%に達しました。

また、赤堀公園用地買戻事業については、全体事業の95.7%に達しました。

目9 老人福祉施設費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
129,306,000円	119,836,050円		9,469,950円

寿楽園入所者のやすらかな生活と生活の質の向上を図るため、月間行事(誕生会・喫茶・買物デー)年間行事(さくらまつり・ピクニック・納涼大会・敬老祝賀会・運動会・春秋のバス旅行・忘年会・新年祝賀会)・クラブ活動(お花・詩吟・手工芸・書道・俳句・器楽・福祉レクリエーション)及び入所者の希望をかなえる少人数単位のグループ活動等を実施しました。

また、在宅福祉サービスとして、ショートステイ事業を実施するとともに、地域との共生及び施設の地域開放を目指し、毎月地域のひとり暮らし老人を招待したほか、「さくらまつり」「納涼大会」には近隣の住民を招き、交流を図りました。

〔非常勤職員報酬〕	1,969,200円		
・嘱託医師 1人			
〔地域福祉活動啓発事業費〕	1,685,569円		
〔寿楽園入所者関係経費〕	55,295,529円	〔国庫支出金 30,949,083円〕 〔その他特財 15,626,199円〕	
〔寿楽園給食業務外部委託事業費〕	59,176,350円		
〔寿楽園入所者健康診断委託事業費〕	84,002円		
〔寿楽園施設整備事業費〕	1,436,400円		
静養室改修外			
〔負担金〕	189,000円		
・三重県老人福祉施設協会等			

入所者の状況

ショートステイ利用状況

性別	前年度未入所者数	入所措置	退所措置	本年度未入所者数
男	38	6	8	36
女	82	11	13	80
計	120	17	21	116

年度	延人数	延日数
9	50	443
10	37	293
11	65	588

〔成 果〕

入所者の高齢化・虚弱化にともない、入所者の安全を重視し、静養室内の便所を介助者と使用できるように改修・手すり・入口等にも配慮しました。また給食業務の外部委託を実施し、入所者の給食サービスの向上と運営経費の節減を図りました。

目10 老人福祉センター費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
101,506,000円	72,164,800円	28,038,000円	1,303,200円

中央・西老人福祉センターは高齢者の憩いの場として広く利用され、各種講座の開催、温泉利用の入浴、健康相談等の充実に努めました。

なお、翌年度繰越額は、老人福祉センター整備事業に係るものです。

〔老人福祉センター管理運営費〕 61,680,550円

中央老人福祉センターの利用状況

性別	団体利用者数（団体数）	個人利用者数	市外利用者数	計
男	3,883	30,346	443	34,672
女	5,691	14,550	0	20,241
計	9,574 (385)	44,896	443	54,913

西老人福祉センターの利用状況

性別	団体利用者数（団体数）	個人利用者数	市外利用者数	計
男	453	33,009	1,044	34,506
女	1,984	20,041	317	22,342
計	2,437 (195)	53,050	1,361	56,848

〔老人福祉センター整備事業費〕 10,484,250円

施 工 箇 所	事 業 内 容	実 施 額
中央老人福祉センター	屋上防水、浴室・正面玄関、大広間床張替 外	10,484,250

〔成 果〕

本年度は中央老人福祉センター屋上防水改修工事、浴室の改修、また2階大広間の床張替等を行い、利用者の利便を図りました。

目11 勤労身体障害者体育施設費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
2,449,000円	1,808,374円		640,626円

三重勤労身体障害者体育センターは、障害者がスポーツ（車いすテニス、アーチェリー、卓球等）を通じて、機能の維持回復、健康の増進を図るとともに、相互の交流を深め、明るく積極的にスポーツに親しむための施設であり、活発な利用に努めました。

[勤労身体障害者体育施設管理運営費] 1,808,374円
 施設の利用状況

開館日数	利用日数	利用者数		
		障害者	一般	計
302	260	2,982	1,531	4,513

項2 児童福祉費
 目1 児童福祉総務費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,846,922,000円	3,819,906,280円		27,015,720円

多様化する保育需要に応えるため、保育内容の充実と施設の改善に配意し、地域の老人との交流事業をはじめとし、地域に開かれた保育所をめざし幅広い活動を行いました。

[一般職給] 421人 2,928,822,627円
 [嘱託職給] 29人 95,468,688円
 [児童福祉一般事業費] 415,842,806円
 ・ 一時的保育事業費 9,350,000円 (県支出金 6,233,000円)
 一時的保育事業利用実績 (延べ利用者数)

(国庫支出金 289,557,688円)
 (県支出金 422,481,082円)
 (その他特財 520,413,046円)

保育園名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
橋北	36	27	58	110	74	107	127	129	142	100	130	151	1,191
愛華	45	40	127	84	45	68	96	95	77	67	95	80	919
いずみ	91	87	112	91	70	114	136	149	125	112	141	144	1,372
ひよこ	104	129	173	154	131	153	160	167	144	135	155	111	1,716
合計	276	283	470	439	320	442	519	540	488	414	521	486	5,198

・ 延長保育特別対策事業費 8,312,000円 (国庫支出金 4,680,000円)
 延長保育特別対策事業利用実績 (延べ利用者数)

保育園名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
みのり	24	35	71	67	63	100	129	107	89	85	97	122	989
愛華	1	22	47	21	9	13	12	11	14	10	2	7	169
フジ	159	152	198	170	218	173	198	238	158	155	187	179	2,185
いずみ	59	45	48	30	0	65	70	54	75	53	64	78	641
あがたが丘	51	35	45	41	41	52	41	47	48	35	39	48	523
ひよこ	417	414	474	410	367	403	405	417	416	375	405	452	4,955
合計	711	703	883	739	698	806	855	874	800	713	794	886	9,462

・家庭児童相談経費	1,306,000円	
・児童手当等給付事務費	1,624,608円	
・厚生会母子寮改築費補助金	698,000円	
・母子家庭児童生徒激励費補助金	822,000円	
・一般経費	393,730,198円	
		〔 国庫支出金 764,970円 〕
		〔 県支出金 11,942,764円 〕
		〔 その他特財 1,636,684円 〕

障害児・保護者訓練指導事業

平成11年4月の三重北勢健康増進センターの開設に伴い、同施設において言語聴覚士、理学療法士の専門スタッフによる障害のある児童とその保護者に対する訓練指導事業を実施しました。

	言 語	理 学	計
登 録 者 数	143	70	213
延訓練実施者数	1,173	755	1,928

〔母子福祉センター管理運営費〕	5,460,962円	
〔おもちゃ図書館管理運営費〕	1,674,707円	
・年間延べ利用者	7,947人	
〔心身障害児福祉事業費〕	37,157,305円	
・補装具交付・修理費扶助費	25,477,305円	（県支出金 12,738,653円）
（補装具交付 258件、修理 24件）		
・重症心身障害児手当 250人	11,680,000円	
〔民間保育所振興費〕	111,379,389円	
・私立保育所運営費補助金	27,837,144円	
・私立保育所地域活動事業費補助金	4,481,815円	（県支出金 2,988,000円）
・子育て支援推進保育事業費補助金	1,000,000円	（県支出金 500,000円）
・私立保育所施設改善資金貸付金	7,000,000円	（その他特財 5,388,919円）
・民間保育所園児健康診断料等補助金	5,818,730円	
・民間保育所障害児保育事業費補助金	1,591,200円	（県支出金 795,000円）
・民間保育所延長保育推進事業費補助金	4,803,400円	（県支出金 2,401,700円）
・民間保育所低年齢児保育促進事業費補助金	29,514,100円	（県支出金 22,135,000円）
・民間保育所開所時間延長促進事業費補助金	24,596,000円	（県支出金 18,447,000円）
・民間施設整備費補助金	4,737,000円	
〔少子化対策基金積立金〕	97,400,331円	（国庫支出金 97,400,331円）
少子化対策臨時特例交付金事業のうち、平成12年度及び平成13年度実施分について基金に積み立てました。（平成11年9月設置 本年度末現在高 97,400,331円）		
〔少子化対策関連啓発等事業費〕	219,625円	（国庫支出金 200,000円）
少子化対策臨時特例交付金を利用して、子どもに健全な遊びを教えるボランティアを養成する「遊びボランティア養成講座」を開催しました。		
〔少子化対策振興補助金〕	126,479,840円	（国庫支出金 126,479,840円）
少子化対策臨時特例交付金を利用して、民間保育園の増築や改修などの施設整備及び備品の購入費、また、保護者等に対する少子化問題についての啓発事業に対して補助を行いました。		
その他、認可外保育施設等の保育環境の向上を図るため、設備整備や図書の購入に対する補助を行いました。		

〔成 果〕

各種相談指導や民間保育所の保育内容充実のための各種支援を通じて、児童の望ましい心身の成長発達や地域の福祉の向上を図りました。

国の補正予算において、地域における少子化対策の一層の普及促進を図ることを目的とした少子化対策臨時特例交付金が創設され、本市も405,716千円の交付を受け、平成11年度から13年度までの3カ年で事業を実施することになりました。この交付金を利用して、民間保育園の少子化対策を目的として実施する施設・設備の整備や啓発事業等に対して助成を行うとともに、子どもに遊びを教えるボランティアを養成するための研修会を開催しました。

また、希望の家の民営化については、市議会各党派への概要説明を行ったほか、他の児童養護施設の視察を行うなど民営化の調査、検討を行いました。

目 2 児童措置費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
1,784,766,000円	1,776,668,836円		8,097,164円

保育に欠ける児童の保育園への入園や保護を要する母子に対する入所措置をとるとともに、国県負担金を受けて入所に要する費用を当該施設に支出しました。

〔母子生活支援施設事務費事業費〕 47,750,575円
 菜の花苑 外 5施設 286世帯利用

国庫支出金	23,754,892円
県支出金	11,877,446円
その他特財	240,790円

〔保育所事務費事業費〕 1,362,681,261円

事業区分	実施額	うち特定財源		備 考
児童一般分	1,270,230,520	国庫支出金 328,323,420 県支出金 164,161,710 その他特財 417,954,660		民間 延べ 20,817人 (市外公立 15人含む)
民間施設加算	92,450,741	県支出金	7,826,300	

〔子育て支援ショートステイ事業〕 82,000円

県支出金	44,106円
その他特財	15,840円

菜の花苑 延べ 8日利用 (参考 同事業は希望の家においても実施 延べ 201日利用)
 〔児童手当〕 366,155,000円

区 分		平成11年度末現在		平成11年度 支 給 額	う ち 特 定 財 源	
		受 給 者 数	対 象 児 童 数			
児童手当	被 用 者	838	945	58,565,000	国庫支出金 52,708,500 県支出金 2,928,250	
	非被用者	1,001	1,125	69,390,000	国庫支出金 46,260,000 県支出金 11,565,000	
特例給付		3,303	3,635	238,200,000	国庫支出金 238,200,000	

〔成 果〕

保育に欠ける児童の保育所入所や、保護を要する母子の母子生活支援施設入所等により、児童の心身の健全な発達や母子の自立を図りました。

目 3 保育所費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
535,911,000円	514,134,034円		21,776,966円

家庭において保護者の十分な保育を受けられない乳幼児について、家庭にかわる良い環境を与え、その保護育成に努めました。また、国の補正予算で成立した少子化対策臨時特例交付金により保育園の備品の整備を行うとともに、乳幼児健康支援一時預かり施設の整備にとりかかりました。

事業区分（施行箇所）	事業内容	実施額	うち特定財源	
塩浜西保育園大規模改修事業	給食室改修、保育室改修、子育て支援スペースの整備	39,549,300	国庫支出金 県支出金	19,417,000 9,708,000

〔非常勤職員報酬〕 16,375,950円
 ・嘱託医師 30人 8,492,150円
 ・嘱託歯科医師 30人 7,883,800円
 〔保育所管理運営費〕 396,819,219円

〔国庫支出金 80,152,888円〕
 〔県支出金 42,546,444円〕
 〔その他特財 163,805,304円〕

整備事業

事業内容	実施額	備考
保々保育園園舎増築工事	18,550,350	
大矢知保育園園舎改修工事	6,510,000	
笹川保育園園舎改修工事	4,243,050	
各園補修等事業	11,396,265	
合計	40,699,665	

〔少子化対策整備費〕 5,818,050円（国庫支出金 5,818,050円）
 少子化対策臨時特例交付金を利用して、公立保育園の幼児用プールなどの設備整備を行いました。
 〔保育所地域交流事業費〕 8,904,239円（県支出金 5,936,000円）
 子育て支援センター事業を実施している橋北、大矢知、笹川保育園を中心に、その他の保育園においても「あそぼう会」や「老人との交流事業」などの事業を実施しました。
 〔保育所建設事業費〕 1,165,500円
 ・内部保育園園舎リース料
 〔乳幼児健康支援一時預かり施設整備事業費〕 16,471,635円

事業区分（施行箇所）	事業内容	実施額	うち特定財源	
乳幼児健康支援一時預かり施設整備事業	鉄骨造2階建 延床面積 225.6m ² （平成11・12年度債務負担事業）	16,471,635	国庫支出金	13,869,000

〔園舎等譲受費〕 250,900円
 笹川西保育園（昭和54～平成11年度債務負担事業）
 〔保育所用用地取得事業費〕 27,291,000円
 高花平保育園、ときわ保育園（公社依頼事業買戻）
 〔負担金〕 1,488,241円（その他特財 491,125円）
 ・日本体育学校健康センター共済掛金等

保育園入所状況

〔公立保育園〕

保育園名	定員	延入所 児童数	延入所児童の年齢別内訳			月平均 入所児童数	児童入所率 （%）
			3歳児未満	3歳児	4歳児以上		
橋北	120	1,537	417	362	758	128	106.67
富洲原	130	1,501	396	356	749	125	96.15
港	45	517	158	112	247	43	95.56

塩浜西	70	805	164	190	451	67	95.71
四郷	120	1,481	201	350	930	123	102.50
羽津	120	1,382	291	348	743	115	95.83
あがた	90	1,275	148	219	908	106	117.78
大矢知	110	1,345	345	238	762	112	101.82
河原田	100	1,235	192	347	696	103	103.00
中央	120	1,376	347	318	711	115	95.83
ときわ	170	2,137	392	526	1,219	178	104.71
水沢	70	779	73	165	541	65	92.86
富田	60	841	224	238	379	70	116.67
高花平	100	1,235	256	293	686	103	103.00
海蔵	80	962	247	202	513	80	100.00
下野	60	637	128	161	348	53	88.33
内部	140	1,828	316	420	1,092	152	108.57
磯津	40	493	37	156	300	41	102.50
坂部	60	803	123	198	482	67	111.67
保々	90	1,159	351	338	470	97	107.78
笹川	120	1,368	257	315	796	114	95.00
西浦	60	604	604			50	83.33
三重	60	726	192	122	412	61	101.67
東橋北	40	292	93	50	149	24	60.00
神前	70	923	195	301	427	77	110.00
日永中央	110	1,500	372	344	784	125	113.64
笹川西	120	1,554	649	361	544	130	108.33
桜台	130	1,481	269	276	936	123	94.62
下野中央	45	544	147	151	246	45	100.00
八郷西	50	660	100	195	365	55	110.00
市内公立計	2,700	32,980	7,684	7,652	17,644	2,748	101.78
山崎乳児		7	7	0	0		
中部		3	0	3	0		

皇子が丘		4	0	0	4		
深谷		1	1	0	0		
市外公立計		15	8	3	4		

〔民間保育園〕

保育園名	定員	延入所 児童数	延入所児童の年齢別内訳			月平均 入所児童数	児童入所率
			3歳児未満	3歳児	4歳児以上		
日永	90	1,249	234	247	768	104	115.56%
厚生会	60	712	206	215	291	59	98.33
浜田	90	1,147	252	208	687	96	106.67
ローズ	100	1,330	375	387	568	111	111.00
海山道	120	1,568	486	358	724	131	109.17
塩浜	60	561	217	124	220	47	78.33
愛華	90	1,230	414	215	601	103	114.44
三重愛育	150	1,927	456	409	1,062	161	107.33
あやめ	60	779	46	216	517	65	108.33
みのり	90	1,160	557	207	396	97	107.78
かわしま	120	1,403	304	432	667	117	97.50
大谷台	90	1,162	260	360	542	97	107.78
フジ	90	1,130	407	304	419	94	104.44
いずみ	90	1,294	505	338	451	108	120.00
あがたが丘	90	866	265	212	389	72	80.00
ひよこ	90	1,183	525	219	439	99	110.00
陽光台	60	832	248	132	452	69	115.00
市内民間計	1,540	19,533	5,757	4,583	9,193	1,628	105.71
久間田	(20)	314	80	102	132	26	(130.00)
岸田	(70)	896	108	222	566	75	(107.14)
第2石薬師		19	16	0	3		
長沢		12	12	0	0		
光陽桑部		16	16	0	0		
七和		12	12	0	0		

市外民間計		1,269	244	324	701		
-------	--	-------	-----	-----	-----	--	--

総合計		53,797	13,693	12,562	27,542		
-----	--	--------	--------	--------	--------	--	--

〔成 果〕

公立保育園の施設改修や少子化対策臨時特例交付金による設備整備等により、保育環境の向上を図りました。

目 4 養護施設費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
41,518,000円	36,413,973円		5,104,027円

希望の家養護部は保護者のいない児童、虐待されている児童、その他環境上養護を要する満2歳から18歳までの入所児童の養護に努めました。

〔非常勤職員報酬〕 889,200円

・嘱託医師 1人

〔希望の家管理運営費〕 35,502,473円 { 県支出金 25,185,006円
その他特財 1,289,040円 }

〔負担金〕 22,300円

三重県児童福祉施設協議会

〔成 果〕

家庭にかわる良い環境を与えることにより、児童の健全な育成を図りました。

養護児童の入所状況

性 別	前年度末 入所者数	本 年 度 入所者数	本 年 度 退所者数	本年度末 入所者数	就 学 状 況				
					小学生	中学生	高校生	幼 児	その他
男	11	12	1	22	5	4	1	12	0
女	17	8	3	22	10	6	2	4	0
計	28	20	4	44	15	10	3	16	0

目 5 乳児院費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
14,362,000円	12,902,332円		1,459,668円

希望の家乳児部は、保護者の健全な養育を受けられない入所乳幼児の養育に努めました。

〔非常勤職員報酬〕 1,395,600円

・嘱託医師 1人

〔乳児院管理運営費〕 11,506,732円 { 県支出金 8,561,747円
その他特財 1,276,660円 }

〔成 果〕

家庭にかわる良い環境を与えることにより、児童の健全な育成を図りました。

養育乳幼児の入所状況

性別	前年度末 入所者数	本年度 入所者数	本年度 退所者数	本年度末 入所者数	年齢別内訳		
					0歳児	1歳児	2歳児
男	7	6	10	3	2	1	0
女	4	8	5	7	2	4	1
計	11	14	15	10	4	5	1

目6 児童館費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
9,918,000円	9,295,437円		622,563円

児童館は児童の健全育成の場として「あそび」を通じた児童の自主的、創造的活動の援助、指導、社会性を養うためのグループ活動の企画推進、リーダーの養成を図るとともに、人形劇・映画会の開催、図書の本棚など優良児童文化の提供に努めました。また、母親クラブをはじめとする地域住民のボランティア活動の促進に努めました。

〔児童館管理運営費〕 6,755,943円
 ・児童健全育成事業費 438,809円
 ・母親クラブ補助金 423,000円 (県支出金 282,000円)
 ・一般経費 5,894,134円

〔少子化対策整備費〕 2,119,494円 (国庫支出金 2,119,494円)

少子化対策臨時特例交付金を利用して、児童館の活動内容を充実させるため、備品や図書の整備を行いました。

〔負担金〕 420,000円

・全国児童館連合会等

〔成果〕

保護者をはじめ、地域の大人の協力を得ながら児童に健全な遊びを提供し、児童の健全育成を図りました。また、少子化対策臨時特例交付金による備品等の整備により、児童館の充実を図りました。

児童館の利用状況

区分	開館日数	延利用者数	1日平均利用者数
北部児童館	257	17,979	70
橋北児童館	257	14,598	57
塩浜児童館	257	10,638	41
こどもの家	257	16,735	65
計	—————	59,950	—————

移動児童館事業

実施回数	実施地区数	延利用者数	1日平均利用者数
8	7	421	53

目 7 知的障害児通園施設費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
19,006,000円	13,515,246円		5,490,754円

あけぼの学園は、通園部と療育部からなる母子通園施設として、昭和54年4月に西日野町に開設しました。通園部（知的障害児通園施設）は、就学前の心身障害児が母子共に通園して、保育園・幼稚園の前段階の療育を受ける場であり、基本的な生活の自立を助長促進し、社会適応性を養うとともに、母親に対する指導・援助に努めました。

〔非常勤職員報酬〕 451,200円
 ・嘱託医師 2人
 〔あけぼの学園（通園部）管理運営費〕 13,064,046円 〔県支出金 8,759,120円〕
 〔その他特財 3,272,643円〕

あけぼの学園創立20周年を記念して、記念式典や記念誌を発行しました。

〔成 果〕

保育療育体制の充実により、障害をもつ児童の望ましい発達促進を図りました。

入園状況

性 別	年 度 末 在園児数	年 齢 別 内 訳				
		1 歳 児	2 歳 児	3 歳 児	4 歳 児	5 歳 児
男	36	2	11	18	4	1
女	14	0	7	3	3	1
計	50	2	18	21	7	2

目 8 児童福祉施設費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
8,553,000円	6,776,955円		1,776,045円

あけぼの学園の療育部は、上・下肢等に機能障害を有し、種々の合併症をもった幼児の保護者とともに通園する施設として、療育指導を行い、機能回復訓練を中心として、保護者の学習（機能回復訓練法）と共に、幼児に対する療育訓練に努めました。

〔非常勤職員報酬〕
 ・嘱託医師 1人 225,600円
 〔あけぼの学園（療育部）管理運営費〕 6,551,355円 〔県支出金 3,029,000円〕
 〔その他特財 1,497,719円〕

〔成 果〕

保育療育体制の充実により、障害をもつ児童の望ましい発達促進を図りました。

入園状況

性 別	年 度 末 在園児数	年 齢 別 内 訳					
		0 歳 児	1 歳 児	2 歳 児	3 歳 児	4 歳 児	5 歳 児
男	32	4	8	7	11	2	0
女	16	3	4	6	3	0	0
計	48	7	12	13	14	2	0

項3 生活保護費
目1 生活保護総務費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
132,023,000円	131,682,557円		340,443円

〔非常勤職員報酬〕	1,702,800円	
・嘱託医師 1人		
〔一般職給〕 17人	123,608,000円	
〔生活保護一般事業費〕	6,371,757円	
・生活保護適正実施推進事業費	2,356,000円	(国庫支出金 2,356,000円)
・一般経費	4,015,757円	

目2 扶助費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
3,103,658,000円	3,084,676,088円		18,981,912円

生活保護法に基づき、生活を維持することが困難な者に対して、生活・住宅・教育・医療・葬祭等の各扶助を行いました。

本年度における生活保護の状況は、開始件数 258件、廃止件数 180件で、保護率は、5.4 % (前年度5.1 %) となり、被保護者は増加しました。増加した主な要因は、経済情勢が不安定な状況にあり、雇用面でも求人倍率が低下していることなど不況が長引いていることや世帯員の単身高齢化が考えられます。

保護開始のうち、世帯主の傷病に起因するものが57.0%を占める一方、保護廃止では、死亡・失踪が23.9%、就労収入の増が19.4%、世帯主の傷病治癒によるものが14.4%でした。

被保護世帯の類型では、高齢世帯47.3%、傷病世帯23.7%、障害世帯13.5%、母子世帯 9.3%、その他世帯 6.2%となっています。また、保護世帯の中で、単身者の占める割合が75.2%であり、そのうち高齢単身は、56.8%を占めています。

〔扶助費〕 3,084,676,088円

生活保護費の状況

区 分	平 成 1 1 年 度		うち特定財源	対前年度比 (%)	平 成 1 0 年 度	
	延 人 数	支 出 額 (円)			延 人 数	支 出 額 (円)
生活扶助	16,311	851,776,078	国庫支出金	107.8	14,968	790,492,254
住宅扶助	12,841	191,987,998	2,293,722,000	112.8	11,673	170,224,858
教育扶助	1,876	12,583,853	県支出金	103.9	1,783	12,106,511
医療扶助	15,519	1,962,814,880	196,227,636	107.8	14,149	1,820,139,280
出産扶助	1	185,895		25.3	3	734,160
生業扶助	17	349,730		122.0	21	286,610
葬祭扶助	26	3,220,500		83.0	26	3,880,192
小 計	46,591	3,022,918,934		108.0	42,623	2,797,863,865
施設事務費	482	61,757,154		112.6	420	54,828,399
合 計	47,073	3,084,676,088	2,489,949,636	108.1	43,043	2,852,692,264

項 4 災害救助費
目 1 災害救助費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
1,507,000円	1,411,460円		95,540円

〔災害見舞金〕 10,000円
 〔災害救助基金積立金〕 1,306,960円
 （昭和39年3月設置 本年度末現在高 119,998,561円）
 〔災害救助経費〕 94,500円

目 2 災害救助基金積立準備費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
1,154,000円	0円		1,154,000円

項 5 国民健康保険費
目 1 国民健康保険費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
1,081,923,000円	1,081,923,000円		0円

国民健康保険費は、国保特別会計に対し保険基盤安定制度、財政安定化支援事業、事務費及び出産育児一時金補助金の一般財源化に基づく繰出金 836,544,832円を含む 1,081,923,000円を繰出し、その運営費に充てました。

・ 保険基盤安定繰出金	441,829,560円	〔 国庫支出金 220,914,780円 県支出金 110,457,390円 〕
・ 職員給与費等繰出金	281,626,272円	
・ 出産育児一時金繰出金	102,800,000円	
・ 財政安定化支援繰出金	10,289,000円	
・ その他一般会計繰出金	245,378,168円	